

各 位

2023年4月3日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

塗ってよし、眺めるだけでも楽しめる身近な花のぬりえ

『季節を彩る散歩道の花ぬりえ』発売

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、散歩道で出会える野に咲く身近な花のぬりえ『季節を彩る散歩道の花ぬりえ』を2023年4月3日に発売しました。



【商品詳細】

書名： 季節を彩る散歩道の花ぬりえ

著者： おくやまひさし

価格： 1,430円(本体1,300円+税10%)

発売日： 2023年4月3日

仕様： A4変形版ソフトカバー・
本文64ページ<https://www.yamakei.co.jp/products/2822490620.html>

【本書の概要】

ボタニカルアートの第一人者、おくやまひさし氏が描く、散歩道で出会える身近な花28種を収録したぬりえ本。鮮やかな色彩の原画をお手本に、初心者でも手軽に、バラエティに富んだ花のぬりえが楽しめます。彩色は色鉛筆と水彩絵の具、どちらにも対応。季節を彩る花を、より身近に感じられる1冊です。

【著者プロフィール】

おくやまひさし

1937年、秋田県横手市生まれ。幼少時より自然や植物に親しむ。漫画家の馬場のぼる氏に師事した後、写真技術を独学で学び、日本各地のフィールドで撮影・観察活動を開始。以降、イラストレーター、写真家として図鑑や写真集、書籍を数多く制作。日本を代表する、ボタニカルアートの第一人者。

【収録している花】

ツバキ レンゲソウ ボケ ソメイヨシノ サトザクラ チンチョウゲ ガーベラ ナノハナ ヒナゲシ ムラサキ
 ツユクサ ムクゲ カイドウ デルフィニューム タンポポ スイセン トルコギキョウ オオマツヨイグサ カタ
 クリ オオムラサキ パンジー タチツボスミレ カンアオイ グラジオラス ナンバンギセル ヒガンバナ ツ
 ワブキ キダチアロエ シクラメン 全 28 種

【ページ見本】

おくやま ひろしさん 花の塗り方アドバイス

ぬりはじめの一手は画材選びから。本音に再現しているおくやまさんの実物1水彩絵の具で描かれたのですが、おやすめは水彩タイプの色鉛筆か水彩絵の具。ふつうの色鉛筆でも描けますが、水筆で色をぼかしたり、グラデーションがつけられる水彩タイプがベターです。



色鉛筆 (水彩タイプ)

おくやまさんのおすすめは、三菱ペンシル「uni」の水彩タイプ色鉛筆24色セット(水色12色入り)。赤・青・黄・緑系のパステルカラーが数本ずつ入っていて、ぬり入門向きと好評。本音に再現している花の色がほとんど再現できるセットです。参考価格：4664円



水彩絵の具

おくやまさんが愛用しているのは、サクラマツ水彩絵の具15色セット。薄くぬくことで透明感を出したり、濃いめにしてみても何となく一枚一枚の質感が伝わる。色を自由に調節できるのが特徴です。15色は少々多過ぎますが、色を混ぜて使うことで、微妙な色合いも再現可能。参考価格：1800円程度

色鉛筆は削ってとがらせる

買ったばかりの色鉛筆は先端が鋭い状態(空回り)が多く、そのまま削ると先端が鋭いままに削れてしまいます。まずは筆削りで先端を少し削り、先削りをすることで、削れやすい状態に調整します。

丸筆から面相筆まで4種類を使い分ける

筆は中央の丸筆から鋭い面相筆まで、4種類の筆を使い分けます。丸筆は太めの花びらや葉のぬりや塗りつぶしに、面相筆は細い部分のぬりやアポイントに使い分けます。水彩色鉛筆/水彩絵の具を使う際は、筆先を削って使い分けます。

塗り方手順 (水彩色鉛筆)

色鉛筆(水彩タイプ)の色の基本は、濃い色から塗っていく。水筆で濃い色を濃く塗っていくこと。色鉛筆で塗った部分を、水筆でさらさらと塗って馴染ませる。水彩色鉛筆の魅力です。

- 1 まずは、オシベの中心から**
 彩色の順番は自由ですが、まずは花の中心部、おしべの黄色から塗っていきます。最初から濃いめの色でパキッと目立たせます
- 2 花びらは薄い色から濃くしていく**
 花びらは薄い色をベースに濃淡をつけていきます。最初から濃い色だと、グラデーションがつけられず単調な色調になるので注意
- 3 水筆で色をなじませる**
 花びら全体に濃く着色できたら、水筆で色をなじませます。水筆でさらさらと塗って、写真のような雰囲気に!
- 4 濃いめの色を足して立体感を出す**
 花びらの中心部に濃いめの色を足して、水筆でなじませます。色の濃淡を出すことで、いっきに立体感が出てきます
- 5 葉も薄い色から濃く、が基本**
 花びら同様、薄い色からスタートして、葉の先端部分に濃い色を入れて、水筆でなじませて濃淡をつけていきましょう
- 6 花と葉がひとまず完成!**
 こんな感じに花と葉が仕上がったら、同じ要領で彩色を進めていきます。失敗を恐れず、感じるままに自由に塗っていきましょう

ツバキ

ツバキ科ツバキ属
 学名: Camellia japonica L.
 分類: 木本から半木本まで
 花期: 2〜5月
 花色: 赤、白

花のつき方: 枝先につく
 葉のつき方: 対生
 葉の形: 楕円形で濃い緑
 木の高さ: 10〜15m
 生息地: 常緑高木




ツバキはサボテン科と見られるが、イバラの棘がツバキでなく、サボテン科特有のトゲが特徴です。濃い緑色の葉は厚みがあり、表面は艶やかな光沢があります。黄色の蕾が咲き出すように見えます。

ソメイヨシノ

バラ科サクラ属
 学名: Prunus serrulata (var. yedoensis) Nakai
 分類: 木本
 花期: 3〜5月
 花色: 淡紅、白

花のつき方: 枝先につく
 葉のつき方: 対生
 葉の形: 卵形で濃い緑
 木の高さ: 10〜15m
 生息地: 常緑高木




ソメイヨシノは、花の咲き始めは淡紅色で、徐々に白く変わっていきます。葉は濃い緑色で、光沢があります。

オオマツヨイグサ

キク科キク属
 学名: Chrysanthemum indicum L.
 分類: 木本
 花期: 9〜11月
 花色: 黄、白

花のつき方: 枝先につく
 葉のつき方: 対生
 葉の形: 卵形で濃い緑
 木の高さ: 10〜15m
 生息地: 常緑高木




オオマツヨイグサは、花の咲き始めは黄色で、徐々に白く変わっていきます。葉は濃い緑色で、光沢があります。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、ライフスタイル、健康の分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：久田

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>